

令和6年度 第2回「ふるさと岐阜 古地図散歩」（11月10日実施）

「地形図に、戦況を読む ～関ヶ原町の地形と、関ヶ原の戦いの戦況について～」講師：草野 道雄 氏

【当日コース】

①徳川家康最後陣地（集合）→②岡山（丸山）烽火場 黒田長政・竹中重門陣跡→③決戦地→④開戦地（昼食）→⑤不破関 北限土塁跡→⑥藤古川橋→⑦本多忠勝陣跡→⑧徳川家康最後陣地（解散）

1. 概要（当日レジュメより）

- （1）午前6時関ヶ原に、全軍着陣
「関ヶ原は、どんなところ？」
 - ・関ヶ原は小盆地（戦場は東西4km・南北2km）
 - ・西軍：北の笹尾、西の天満、南の松尾、東の南宮山に陣
 - ・東軍：関明神・茨原・丸山に一陣、家康：桃配山に本陣
 - ・戦場：開戦地・決戦地・藤川台
- （2）徳川家康最初陣地
「見通しのきかない桃配山に、なぜ？」
- （3）黒田長政・竹中重門陣跡
 - ・東軍、開戦を告げる烽火は、岡山の丸山（163m）から挙がる。
- （4）島左近、黒田鉄砲隊により被弾！
「黒田鉄砲隊が、竹中隊の案内で、島隊を側面から銃撃できたのはなぜ？」
- （5）国史跡：関ヶ原古戦場「決戦地」
「蒲生備中が、なぜ自在に戦ったのか？」
- （6）宇喜多隊と福島隊の間の「不破関北限の土塁」での攻防
- （7）国史跡：関ヶ原古戦場「開戦地」
 - ・井伊直政・松平忠吉、宇喜多隊ではなく「迂回して島津隊と対峙なぜ？」
 - ・宇喜多秀家1万8千×福島正則隊6千「福島1/3の兵で、終日戦えたのはなぜ？」
- （8）天下分け目の藤古川 川を渡るは藤堂か大谷か
「藤堂・京極隊6千×大谷隊3千互角なぜ？」
- （9）戦死者が葬られた「西首塚・東首塚」
『「西首塚」・「東首塚」は、なぜここに？』

※実際に見て歩いて地形を体感し、講師 草野氏の問い「なぜ？」について思考し意見を交流した。

《古地図散歩の様子》

①徳川家康最後陣地（集合）



②岡山（丸山）烽火場 黒田長政・竹中重門陣跡 ③決戦地



⑧徳川家康最後陣地（解散）付近



2. 訪れた場所 コース図

県域統合型 GIS ぎふ より

